平成30年度下水道事業決算の概要

平成29年4月1日より地方公営企業法を適用したことにより、下水道事業の経理は、水道事業と同様に複式簿記により行 うこととなりました。

主に施設の維持管理を行うための経費と財源を表す「収益的収支」と、下水道施設の建設・改良や企業債に係る経費と財源 を表す「資本的収支」の2つに区分しています。

「収益的収支」では、収益が費用を上回り、純損失が約4,724万円となりました。

「資本的収支」では、支出全体として19億5,938万円となりました。

1. 収益的収支(税抜) (1) 収益的収入 (税抜) 収入A 支出B 決算額 区分 大聖寺川浄 化センタ-下水道料金【下水道使用料】 6億2,802万円 の維持管理 汚泥等の処 補助金等償却費相当額 等に係る経 分・収集運 搬等に係る 経費 3億7,304万円 【長期前受金戻入】 費 -般会計 163% -般会計負担金 負担金 8億2,048万円 【他会計負担金、他会計補助金】 7.5% 42.8% 下水道加 その他の収入 入促進に 4,873万円 【下水道指定工事店手数料ほか】 係る経費 下水道管 0.5% 18億7,027万円 合計 やマンホ-ルの維持 管理に係る (2) 収益的支出 (税抜) メーター検 経費 区分 決算額 針等に係 1.1% 下水道管やマンホールの維持管理に係る経費 る費用 3.9% 2,149万円 借入金の 【汚水管渠費】 利子返済 15.2% 汚泥等の処分・収集運搬等に係る経費 1億4,321万円 下水道使 【処理場費】 用料 下水道加入促進に係る経費 1,022万円 32.8% 減価償却 【普及指導費】 費等 経理事務および料金収納等営業等に係る費用 52.7% 7,395万円 【業務書、総係書】 大聖寺川浄化センターの維持管理等に係る経 3億1,258万円 費【流域下水道維持管理等負担金】 借入金の利子返済 2億9,166万円 【支払利息及び企業債取扱諸費】 その他の 長期前受 減価償却費等 /収入 10億1,070万円 金屋入 2.5% 【減価償却費、資産減耗費】 19.5% その他の その他の費用【汚水ポンプ費ほか】 5,370万円 費用 2.8% 合計 19億1,751万円 В 純損失 2.5%

△4,724万円

(A-B)

(税込)

2. 資本的収支(税込)

収益的収支差額(純損失)※

(1) 資本的収入

•	(1)		
	区分	決算額	
	借入金【企業債】	10億3,212万円	
	国補助金【国庫支出金】	1億 383万円	
	他会計からの補助金等 【他会計出資金】	1億5,039万円	
	その他の収入 【工事負担金、長期貸付金収入】	6,588万円	
	自己資金(内部留保資金※)	6億 716万円	
合計		19億5.938万円 A	

(2)資本的支出 (税込)

区分	決算額
下水道施設の建設・改良費 【建設改良費、固定資産購入費】	3億5,156万円
借入金の元金返済 【企業債償還金】	16億 544万円
その他の費用 【長期貸付金等】	238万円
合計	19億5,938万円 B

下水道施 借入金 設の建 52.7% 設•改良 費 179% 国補助金 借入金 の元金 他会計補 返済 助金等 7.7% 81.9% その他 3.4% その他 の費用 自己資金 0.1% 31.0%

支出B

収入A

自己資金(内部留保資金)とは、現金を伴わない支出(減価償却費等)相当額や当年度以前の利益等です。

収益的収入・支出、資本的収入・支出の区分欄の【 】内は、決算書の科目名を表しています